

**飯山市基本構想審議会専門委員会及び飯山市地方創生総合戦略
会議専門部会 会議概要**

1 会議名	飯山市基本構想審議会専門委員会及び飯山市地方創生総合戦略会議専門部会
2 日時	令和5年11月27日(月)10時00分～11時45分
3 会場	飯山市役所 4階 第2委員会室
4 委員出席者 (順不同)	本間委員、岡田委員、佐々木委員、片山委員、スタンキー委員、池田委員、前田委員、小林(周)委員 ※欠席：小林(次)委員、高野委員
5 報道関係者 (順不同)	信濃毎日新聞社、北信濃新聞社、北信ローカル、iネット飯山
6 事務局出席者	総務部長、企画財政課長、企画調整係長、企画調整係主任

会議事項等

1 開会 (進行：企画財政課長)

2 市長あいさつ (進行：企画財政課長)
(江沢市長)

みなさんおはようございます。本日は、お忙しい中、飯山市基本構想審議会専門委員会及び飯山市地方創生総合戦略会議専門部会にお集まりいただきありがとうございます。

飯山市総合計画は10ヵ年の計画で、長期的で見通しにくい計画ではあるが「世界にひらく里山の未来」という今後の飯山市にとって、非常に重要なサブタイトルを入れさせていただいた。また、本会議では、女性の委員が10人中6人ということでこのような委員構成は初めてのことである。是非、活発な議論を展開していただくようお願いしたい。

3 委嘱状交付 (進行：企画財政課長)
(企画財政課長)

市長より、委員のみなさん一人ひとりへ委嘱状を交付させていただくのでよろしくしたい。

※市長から委員一人ひとりへ委嘱状を手渡しした。

4 自己紹介 (進行：企画財政課長)
(企画財政課長)

続いて、自己紹介ということで順番にお願いをしたい。名簿に記載させていただいているが、今回の会議の座長に信州大学の本間様をお願いしたい。皆さまご了解いただきたい。

※本間専門部会長→委員→事務局の順番に自己紹介を行った。

5 協議事項（進行：専門部会長）

（1）飯山市第6次総合計画・飯山市総合戦略について及び第2期飯山市総合戦略について

- ・参考1「飯山市基本構想審議会条例」
- ・参考2「飯山市地方創生総合戦略会議設置要綱」
- ・資料1「飯山市基本構想審議会専門委員会及び飯山市地方創生総合戦略会議専門部会の評価に関する計画期間及び評価実施時期等について」
- ・資料2「飯山市第6次総合計画・飯山市総合戦略について」
- ・資料3「第2期飯山市総合戦略について（概要版）」
- ・冊子「飯山市第6次総合計画」、「飯山市第6次総合計画ガイドブック」、「第2期飯山市総合戦略（概要）」

（※資料に基づき事務局説明）

→ 質問・意見等無し。

（2）第2期飯山市総合戦略の進捗状況について

- ・資料4「第2期飯山市総合戦略 令和4（2022）年度の進捗状況」

（※資料に基づき事務局説明）

→ 質問・意見等無し。

（3）デジタル田園都市国家構想交付金関係活用事業の進捗状況について

- ・資料5「デジタル田園都市国家構想交付金活用事業 令和4（2022）年度の進捗状況」

（※資料に基づき事務局説明）

→ 質問・意見等無し。

（4）その他

（専門部会長）

ここで自由に意見交換の場を設けたい。（1）～（3）の資料について質問や意見等をお願いしたい。また、皆さん暮らしている中で実感としてどのように生活が変わってきたのか、課題として残っている点など意見があれば自由にご発言いただきたい。

（委員）

斑尾を中心として考えると斑尾から下側に大川、分堂、沓津などがある。今は、県道を使用して飯山市街に降りてくるが、市道の整備が整っていないように感じる。

（事務局）

市道を活用したダウンヒルを行っていることは存じ上げている。市道の整備が整っていないことも承知しているため、関係部局等と調整して事業を展開できるか研究していきたい。

(委員)

これからの10年間で人口が減少していくというのは事実である。移住者を増やすためには(若い方を増やすためには)、便利な場所が必要で、飯山駅周辺の整備は重要なポイントである。若い世代が求めていることは、便利な場所があって、少し移動すると田舎暮らしができる場所である。

また、例えば、今出生した子が10年後には、10歳である。この子たちがタブレット等を活用して様々なことをしているのではなく、少し田舎暮らしを行うことができるような地域になるように導いていただきたい。

日本人だけでなく海外からの移住者やインバウンドの方も多くなっている。このような方々もこの会議に参加させても良いのではないかと。今日本にいる海外の人たちが今日本にいない海外の人たちへ飯山市をPRしてもらい、飯山市の良さを広めてもらうことも必要ではないか。

(市長)

インバウンド=旅行者という方をこの会議に参加させた方が良いのか。それとも今日本にいる海外の方をこの会議に参加させた方がよろしいのか。

(委員)

外国籍を持っていて、日本に移住している方々に参加させるべきではないか。例えば、東京都内で住んでいる方でも良いのではないかと。今東京に住んでいて、冬に観光で飯山市へスキーをするために来る海外の方でも良いと考える。

(市長)

具体的にそのような方もいる。例えば、数年前に飯山市へ移住してきた外国人の方や2拠点居住の方で飯山に来ている方のことだと思う。このような方々をお呼びして移住した理由などを聞くということか。そのような方々であれば、私も意見を聞いてみたい。

(委員)

そのとおりです。幅広く意見を取り入れることができると思う。

(事務局)

検討したい。

(市長)

少子化の関係で事務局にお聞きするが、近年の飯山市の出生者数の状況を教えて欲しい。

(事務局)

令和4年83人、令和3年93人、令和2年96人、令和元年110人です。

(市長)

長野県においては、20代から40代の女性の転出者が多い。当市においてもこの点をどのように変えていくかが課題である。その点についてどのようなことが必要か委員の皆さんからご意見を頂戴したい。

(委員)

キャッチフレーズ「世界にひらく里山の未来」ということだが、何を目指しているのかが分かりにくく、市民も分かりにくいと感じているのではないか。また、人口の減少については、出生者数が減少しているのか、転出者が増加しているのか分からないためご教示いただきたい。

(事務局)

「飯山郷創～世界にひらく里山の未来～」を実現させるために飯山市第6次総合計画の冊子25頁に記載されている5項目の基本目標を掲げさせていただき、5項目からどのようなことを行っていくのかは、40頁に記載されている施策体系の施策に基づいて、令和5年度以降、事業の展開を進めていきたい。また、人口については、11頁をご覧いただきたい。これは、人口動態を示したものである。ここ最近の社会増減については、転入者数と転出者数の差は小さくなっているが、自然増減については、出生者数と死亡者数の差は大きくなっている。

(専門部会長)

「飯山郷創」の目標名については、様々な候補が出たが掴みがいいものということでこの目標名を定めさせていただいた。より詳細が分かる飯山市第6次総合計画ガイドブックもあることから市民へ周知していただきたい。

(委員)

飯山市総合計画、飯山市総合戦略、デジタル田園都市国家構想交付金の全体像が理解できない。

(事務局)

総合計画とは、市町村の最上位計画で全ての分野を網羅して策定した計画のことで様々なことが記載されている。総合戦略とは、2013年頃から人口減少が地方において顕著に表れるようになったことから、自治体において将来人口を設定し、どちらかという人口の推移に特化した計画のことである。国では、総合戦略に定めた事業について良い事業については補助金を用意してくれる。これがデジタル田園都市国家構想交付金である。

(市長)

今の質問は、もっともな疑問であると思う。私も最初に資料の説明を受けたときは、良く分からなかった。ここでの議論の場は、計画や事業内容を良く知っているということではなく、飯山市政に対して率直な意見・疑問をぶつけて欲しい。今苦勞していることなどがあれば意見を述べていただきたい。

(委員)

地域のコミュニティはしっかりしているのかもしれないが、外から見た場合、何をしているのかが分かりにくい。例えば、住んでいる人だけでなく、移住してきた方が飯山市は何をしているのか直ぐに分かる地域になればもっと良くなるのではないかな。

(委員)

少子化について、子どもを産むのに前向きになれないのは気候の面が大きい。また、移住者同士で農業をしていると自分の両親の介護や金銭面でも大変である。

飯山市の魅力である里山で伸び伸びと生活することができるということをブルシットジョブの方々などへ伝えることができればもっと移住者の増加につながるのではないかな。

(専門部会長)

飯山市から中野市へ転出される方が冬期の雪の理由から多いと聞く。多くの方に知っていただくという意味でも、飯山市から転出する理由を公表しても良いのではないかな。

(委員)

若い世代が飯山市から転出される理由は、2つある。1つの理由は仕事がないこと。雪が降るため、駐車場を作って融雪設備を入れるだけでコストがかかってしまい、企業誘致ができないことから、働く場所がなく転出に至ってしまうケースが多い。もう1つの理由は、雪が多くて大変な点である。飯山市では除雪体制は整っているため、収入を得られることができるようにどうすれば良いのか検討すべきである。

(委員)

4年前ぶりに飯山へ来たが、飯山駅前が全然変わっていなかったことに非常に残念であった。長野県で新幹線の停留所は現状5つあるが、今後開発することができるのは飯山だけであると感じる。しかしながら、現状の飯山市では、雇用がなく利便性も悪く、新幹線も上手く活用できていない。飯山市の住民は、すごく良い方が多く、宝の宝庫であることから期待している。また本日示された資料については、分かりにくかった。できた・できなかったという評価も大切だが、自由に意見を言うことができる機会を作っていただき課題解決に取り組んでいくことも大切ではないかな。

(専門部会長)

資料については、分かりやすいように改善をしていただきたい。また、委員について次回どのような方を入れるのか検討してもらいたい。

(市長)

最後に、本日の会議でまだ意見を述べる事が出来ていない方々から一言ずついただきたい。

(委員)

観光について話をしたいが、外から来られる観光客は、恐らく北信エリア（例えば、飯山市、木島平村、野沢温泉村）という行政区が好きだからという理由で来られていると思う。その中で、飯山市の乗り合いタクシーは1時間前に予約をしないと行けないため、少しハードルが高いと感じる。

(委員)

何を仕事とするか分からずに移住してきた。家庭菜園をしていた際に、これは面白いと感じてから農業を始めた。飯山市の農業は良い面もあるが悪い面もある。それは、畑の農地が細かすぎて整備されていない点である。新規就農者を増やすためには受け入れ体制を整えていただくことと住める体制を増やしていただきたい。

また、子育てについてだが、女性が子どもを産まないという選択肢も1つあるため、若い方を飯山市へ転入させることで出生率が上がるということではないと思う。

(市長)

本日の会議では、貴重な意見が沢山あった。外国人で移住されてきた方に一度この会に入らせていただきたいが良いか。また、できるだけ早く次の会議を開催したい。

(専門部会長)

入れていただいて良いのではないかと。

(市長)

来年度の予算編成の時期になっているが、是非、このようなことを取り組んでいただきたいという事柄があれば、事務局へメールや電話などで連絡をしていただきたい。皆さんの意見を取り入れて実現できるものについては、実現できるように検討していきたい。

(専門部会長)

協議事項については、以上で終了となる。進行を事務局へお返す。

6 その他 (進行：企画財政課長)

長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。最後に市長から一言いただきたい。

(市長)

皆さんと共にこの地域を元気な地域にしていくことができるように、皆さんの力をお貸しいただきますようお願いしたい。

(企画財政課長)

最後に全般を通して、皆さんからご意見はありますか。本日の会議で言えなかったことなどありましたら事務局までご連絡くださるようお願いしたい。

7 閉会 (11:45)